

永澤美保（同調的共生）、中野和彦（環境分析学）、
久世明香（動物臨床行動学）、菊水健史（集団内分泌）

研究の背景

- イヌは「におい嗅ぎ」が大好きです。散歩中のにおい嗅ぎはイヌが外の世界を知るための唯一の機会といっても過言ではありません。
- しかし、しつけや効率化のために私たちはイヌの散歩中のにおい嗅ぎを制限しがちです。
- 本テーマは、イヌの「におい嗅ぎスポット」を調べて、イヌが本当に楽しめるお散歩マップをつくることを目的としています。



① 散歩中のイヌが

アプローチ

イヌの飼い主から、普段のお散歩でのにおい嗅ぎスポット情報を送ってもらい、それを地図にします（右図①～④）。

1. 家庭犬飼い主の協力者を募集し、研究内容について説明します。
2. Google AppSheetを使ってデータを収集し、におい嗅ぎスポットを地図上に記録します。
3. におい嗅ぎスポットに実際にいって、イヌが好む条件を調べます。
4. イヌにとって楽しい散歩場所の提案をします。



② におい嗅ぎしたら専用アプリで撮影

期待される結果

自身の学びや研究方法を身につけると同時に、**イヌの「におい嗅ぎ」の重要性の理解を促進**することで、イヌの福祉に貢献できます。

● ジェネプロ生

本テーマに参加する学生は、調査方法やデータの取り扱い、プレゼンテーションの方法などを身につけることができます。イヌの散歩に適した環境改善への手がかりが得られます。

● 研究協力者（飼い主）

イヌのことをしっかり観察する習慣が付き、日々の散歩内容が改善するかもしれません。嗅覚を積極的に使うことで、イヌの心身の健康への効果も期待できます。



③ データが送られて



④ Google Mapに記録される

募集方法

- 募集人数：若干名（説明会に参加してください。希望者が多い場合は面接で選抜。）
- 下記の条件にあてはまる方：
 - ・ 介在動物学研究室のゼミに参加し、積極的に学ぶ意欲のある方。ゼミで研究の進捗報告などを定期的に行ってもらいます。ゼミは週3回、朝8時からです。
 - ・ オープンキャンパスなどでの広報活動に積極的に協力できる方。
 - ・ 忍耐強く誠実な方。
- 連絡先：お問い合わせはメールをお願いします。 nagasawa@azabu-u.ac.jp